

政治の見直しを訴え、『19兆円の請求書』を出して内閣が発した官僚たちは、異動となった。テレビ取材に匿名で、ある有力政治家にこう言われたと証言する。「君たちが言っていることは、全部正しいな。でもな、嘘は承知で“出来る、出来る”と言っているじゃないか。薄く広く電力料金に乗っければ、19兆円なんてすぐ生み出せる。」——結局、国民よりも、自分たちの飯の種とか立派とかを優先しているんですよ。

継続が決まった再処理工場は、トランプが続き、完成時期は26回延長された。私たちが電気料金を通じて支払った関連費用は、7兆円を超える（国民一人当たり約6万円）。

日本の原子力において発足したプロジェクトは、条件がいかに変化しようとして、中止に追い込まれることかあった。所管省庁、電力業界、政治家、地方自治体の有力者、すべての構成員が何らかの利益配分を受けることが出来る限りにおいて、分裂は回避され、結果として原子力の自立的膨張がもたらされてきた。国民の痛みの上には政策は成り立っている。一人一人では広く薄くても、トータルは途方もない。

2006年、国は原子力政策の推進をさらに強化する方針

を出した。しかし、2007年、中越沖地震で、柏崎刈羽原発の破損、放射性物質が漏れる事故が起こる。それでも“原子力神話”は消えず、全国の原発は稼働を続けた。

2011年3月、福島第一原発で、核燃料が溶け落ちるマルチ・タウプが起きる。それは、吉岡さんにとっても予想を超える最悪の事態で、これを機に吉岡さんは、それまで距離をとっていた市民運動にも関わるようになる。“自ら社会を変える”という方向に自分の力を尽くすようになった。そして、積極的にメディアで発言することも始めた。

2014年、国内のすべての原発が停止された。その後、体調が悪化して入院した吉岡さんは、“原発事故で被災した人々”に心を寄せながら、2018年に亡くなった。しかし、2023年、岸田内閣は“原発推進”に舵を切った。世論も“原発廃止”が減ってきて、“事故は起こらない”と思う人が増えている。今、12基の原発が再稼働している。

吉岡さんが生涯貫いた信念——「利害を超えて議論を尽くす」は、考えないで進むことの危険性を見すえている。それは、問題を放置して、かえって傷を深くすることにつながっていく。

百里平和公園に「憲法9条の碑」建立

～つぐばから除幕式に多数参加しました～

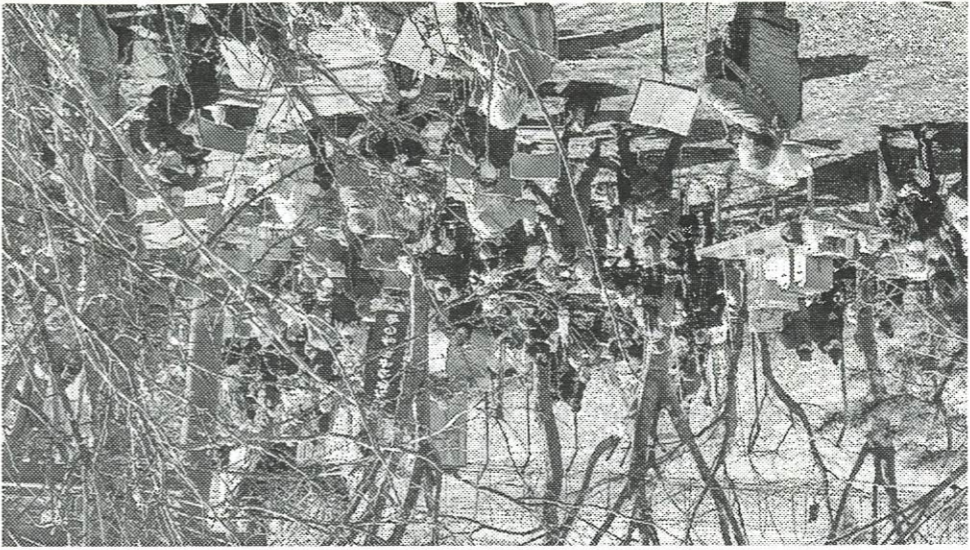
2月11日（日）「百里初午祭り」当日、百里基地に隣接する百里平和公園にて「憲法9条の碑」の除幕式が晴れやかに行われました。建立に賛同した県内外の82団体、534人の個人から募金が寄せられ、この日までに目標の金額220万円を超過達成しました。「憲法9条の会つぐば」は建立実行委員会に初期から参加し、団体賛同金の協力、個人賛同金の呼びかけを積極的に行い、建立に大きく貢献しました。9条の会つぐばからは、団体として3万円、個人からは7万円以上の賛同金が寄せられました。

*賛同金は、除幕式当日も含めて、300万円超に達しています。

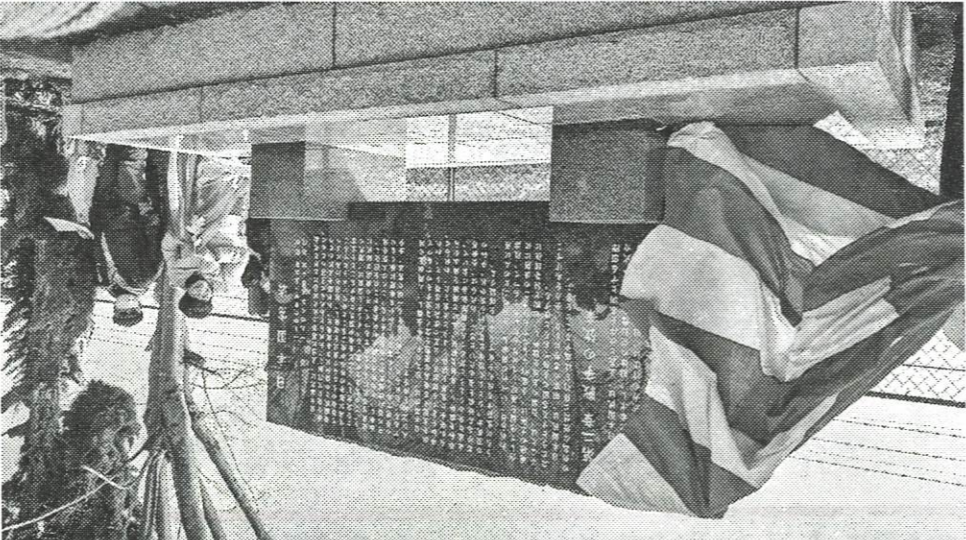
今後、碑の脇に銘板を設置する予定です。百里平和公園の維持管理にも活用します。

建立実行委員会の委員長である谷萩陽一さんの当日の挨拶から、建立のいきさつや意義について語られた部分を抜粋してお伝えします。

『2021年の憲法記念日に水戸で行われた憲法フェスティバル（屋内開催）で、伊藤千尋さんが講演された際、憲法9条の碑が全国各地にある、海外にもあるという話をされま



した。その話を聞いた県平和委員会の人々も、この話を得た、ということ。その後、無料で石材を提供して下さる方が現れ、計画が具体化されまされた。伊藤さんの話によると、全国には33の憲法9条の碑があり、百里の碑は34番目になります。自衛隊基地のど真ん中にできるのは、全国でも初めてのことです。



百里の平和公園自体が「戦争のために土地は売らない」とたたかってきた反対同盟の農民と、これを支援する運動の力で守られてきた土地です。今や百里基地は「自衛隊は憲法違反」という大看板に見下ろされ、憲法の条文を刻んだ石碑によって誘導路が「くの字」に曲げられているという世界にも例のない基地になったのです。（中略）この先、さまざまな困難や紆余曲折があっても、この日本がいつかは、9条が理想とした、戦争も軍隊もない国となる日が来ることを信じていたいと思います。それは募金を寄せて下さった多くの方々との共通の思いだと思います。私たちに代わって、その日をしっかりと見届けてくれることを、この百里・憲法9条の碑に託します。』

9条の会つぐばからは、貸し切りバスで18人、個別参加が数人の20人以上が参加しました。全体の参加者は約550人で、例年の2～3倍だったとか。腰かい飲み物、食べ物があり参加者一同楽しく過ごしました。「9条の碑」は予想より大きく立派で、表面に憲法の前文と第9条の文章が彫られ、裏面に建立の趣旨などの碑文が彫られています（写真参照）。当日は伊藤千尋さん、百里護国団の内藤功さんからのメッセージも届きました。

記念式典の最後には、「岸田政権が強行する『戦争国家つぐり』を拒否し、改憲に反対し、憲法9条を守り抜きます」とするアピールを採択しました。その後、歌声のもと、飲食とともにし、多くのリリー・トークが発表されました。

（穂積）

